

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
1	17分	吉田 勝廣(県民の会)	知事 関係部室長等
質問要旨			
1	<p>沖縄県の自立経済の確立について</p> <p>(1) 復帰後、沖縄振興開発事業費7兆5968億円が投入され、高率補助も措置されたが、財政諸表・産業構造統計等を見る限り、遅々として進んでいないと思われるが、県はどのように分析し、今後の対策を講じようとしているか伺う。</p> <p>(2) 自立経済を目指す上では、特に県内の製造業の強化が重要と考えるが、県内の製造業の現況と対策を伺う。</p> <p>(3) 人材育成の現況と対策を伺う。</p>		
2	<p>財政問題について</p> <p>(1) 三位一体改革について</p> <p>ア 改革が開始されてから、県・市町村の財政にどのような影響を与えたか伺う。</p> <p>イ 政府の財政改革に対して、県はどう対処するのか伺う。</p> <p>ウ 県、市町村財政の今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 財政について</p> <p>県、市町村等の財政を総合的に把握する必要がある。次のことを明らかにしていただきたい。</p> <p>ア 税収について</p> <p>(ア) 市町村税・県税・国税は幾らか。</p> <p>イ 国庫支出金について</p> <p>(ア) 市町村・県・その他は幾らか。</p> <p>ウ 借金(地方債)について</p> <p>(ア) 市町村・県・その他は幾らか。</p> <p>エ 基金について</p> <p>(ア) 市町村・県・その他は幾らか。</p> <p>オ 市町村・県の依存財源率は幾らか。</p> <p>カ このような財政状況を踏まえて、県の対策を伺う。</p>		
3	<p>基地問題について</p> <p>(1) 「千載一遇のチャンスだ」と県は主張していたが、今回の中間報告をどう評価しているか。</p> <p>(2) 今度の中間報告はアメリカの世界戦略(米軍の変革と在外米軍の再編)を同盟国と一体となって対処しようとするねらいがある。</p> <p>ア 特に役割・任務・能力の骨子は、今後の在日米軍の位置づけを考える上で重要と考えるが、県はどのように分析しているか伺う。</p> <p>(3) 駐留軍労働者の雇用対策について伺う。</p>		
4	<p>北部の山々は赤松で覆われている。松くい虫対策を伺う。</p>		
5	<p>我が会派の代表質問との関連について</p>		

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	辻野 ヒロ子(自民党)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	新石垣空港建設について		
	(1) 設置許可に伴う公聴会で、全員が賛成意見を公述し必要性を強く訴えたが、県としてはどのように受けとめたのか伺いたい。		
	(2) 国交省は「年度内のできる限り早い時期に決定したい」とのコメントに、県としては今後どのような手順で進めていくのか伺いたい。		
2	観光産業の活性化について		
	(1) 沖縄・石垣～台湾・花蓮間のチャーターフライトについて、観光活性化に大きな期待があり、実現に向けて県の支援が必要であると考えが見解を伺いたい。		
	(2) 石垣空港でのC I Q(税関、入管、検疫)施設設置が不可欠であり、新年度予算措置に向けて早急に取り組んでもらいたいが見解を伺いたい。		
3	経済と雇用問題について		
	(1) I T関連企業の誘致について県内の状況と今後の見通しを伺いたい。		
	(2) 宮古・八重山地区のコールセンター設置について見解を伺いたい。		
	(3) 若年層の雇用支援について、現状をどのように把握し、今後、具体的にどのような対策を講じていくのか伺いたい。		
4	離島活性化について		
	(1) 「県行財政改革プラン」の「出先機関の見直し」について、離島地域の意見を尊重し、行政サービスの維持が不可欠だが見解を伺いたい。		
	(2) 与那国「国境交流特区構想」の実現と推進に向けて、県としての支援が重要だが、どのように考えているのか見解を伺いたい。		
	(3) 離島活性化調査検討会議(美ら島会議)の推進状況と今後の取り組みを伺いたい。		
	ア 人材育成・専門家派遣事業について		
	イ 「一島一物語」事業について		
	ウ 離島観光振興地域等整備事業について		
	エ 離島ブロードバンド環境整備事業について		
	オ 地域貢献・交流による沖縄体験滞在交流促進事業について		
	カ 離島・地域密着型サービス構築支援事業について		
5	福祉行政について		
	(1) 本県における少子化の現状をどのように把握しているのか。また、今後の対策について伺いたい。		
	(2) 「おきなわ子ども・子育て応援プラン」が策定されたが、「ファミリーサポートセンター」の進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。		
	(3) 「特定不妊治療費助成事業」の取り組みについて伺いたい。		
	(4) 離島医療支援の強化について、医師の確保や無医地区等への巡回診療等の充実について伺いたい。		
	ア 竹富町黒島診療所開設支援と来年度以降の対応について見解を伺いたい。		

6 ちゅらさん運動の推進について

(1) ちゅらさん運動の進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。

ア 「ちゅらひとづくり」について教育長に伺いたい。

イ 「ちゅらまちづくり」について文化環境部長に伺いたい。

ウ 「ちゅらゆいづくり」について警察本部長に伺いたい。

(2) 推進体制として、知事を会長に「ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議」が設置されているが、実効性のあるものにするために今後の取り組みについて知事の見解を伺いたい。

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
3	17分	糸洲 朝則(公明県民会議)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	<p>知事の政治姿勢について 国の安全保障は「抑止力」と対話・平和外交にあると言われている。今回の米軍再編は、抑止力の維持と負担軽減だと首相みずから発言し、県民に期待を抱かせたが、中間報告による案は、北部に集約した機能強化であり、県民の理解は得られない。安保条約に基づく抑止力の維持は国民ひとしく担うべきであるが、現実是在日米軍の75%が沖縄に集中しているように、県民は過重な負担を強いられている。したがって、</p> <p>(1) 沖縄の抑止力と対等な対話の拠点、例えば、アジア太平洋地域を視野に入れたPKO支援物資の備蓄、「人間の安全保障」の拠点として位置づけ、平和外交の発信地とする構想を日米両政府に強く求める考えはないか。そのことは、私どもがこれまで主張してきた国連アジア太平洋本部構想にもつながり、知事の所見を伺う。</p> <p>(2) 嘉手納以南の米軍施設の返還がなされた場合、これらの施設を(1)の拠点として活用できないか。米軍基地の平和利用の象徴として、平和の発信を世界にアピールできると考えるが、知事の所見を伺う。</p> <p>(3) これらの基地が返還された場合の跡地利用計画及び実施について、県はどのようなかかわっていくのか。</p>		
2	<p>行政改革について</p> <p>(1) 沖縄県財政の中期見通しについて</p> <p>ア 現在策定中の「沖縄県行財政改革プラン」について</p> <p>イ 2007年問題の象徴、団塊の世代の退職に伴う影響は、例えば退職金の額(県職員及び市町村職員の人数及び金額)これらの県財政への影響及び対策等。</p> <p>ウ 収支不足対策について</p> <p>(2) 指定管理者制度の導入による効果について</p> <p>(3) 住宅公社の見直し案、実施の進捗状況と将来展望について</p>		
3	<p>教育行政について</p> <p>(1) 県立高等学校編成整備計画について</p> <p>(2) 市町村合併と小中校の編成整備について</p> <p>(3) 豊見城高校の総合学科の設置について</p> <p>(4) 鏡ヶ丘養護学校の裏山の遊歩道の整備について</p>		
4	<p>水産業振興について</p> <p>(1) 水産業振興に要する予算について、項目ごとに説明されたし。</p> <p>(2) 漁業者が活用できる県の制度がありましたら御説明いただきたい。また、利用状況等についても御説明ください。</p> <p>(3) 県漁連を初めとする漁業組合の現状と将来展望について</p> <p>(4) 水産公社の役割と活用、今後の見通し等、将来展望も含めて伺う。</p>		
5	<p>離島振興について</p>		

- (1) 座間味村の水不足対策について。あらゆる対策を講じて水不足を解消し、離島の水源確保のモデル地域に指定するぐらいの意気込みを期待。
- ア 阿真地区の水源流域保全事業について
 - イ 現在のダムの改良及び拡張について
 - ウ 地下水、雨水利用について
 - エ 海水、淡水施設の導入について
 - オ 中水道施設の普及等、あらゆる方策を検討し水不足解消を。
- (2) 多良間フェリーの代替船の対応について
- (3) 伊良部漁港の製氷施設の改築について
- (4) 一島一町村体制について、県の考え及び今後の対応について
- 6 介護保険事業の現状と今後の取り組みについて
- (1) 介護サービス利用者の実態について、対前年比伸び率とあわせて伺う。
- ア 本県の65歳以上人口と高齢化率。
 - イ 要介護認定者数。
 - ウ 居宅サービス受給者数とその中で訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、訪問入浴のいわゆる訪問系サービス利用者数。
 - エ 施設サービス利用者数。
 - オ 要介護認定者のうち、介護サービスを利用していない人。
- (2) 介護保険サービス施設の現状について伺う。
- ア 指定居宅支援事業者数。
 - イ 居宅サービス提供事業所数。
 - ウ 介護保険対象3施設の施設別の数。
 - エ 通所サービス別の数。デイサービス、リハビリテーション。
 - オ 短期入所サービス別の数。ショートステイ、短期入所療養介護。
- (3) 介護財政の現状について伺う。
- ア 県全体の介護給付費総額。前年対比伸び率もあわせて。
 - イ 県全体の介護保険歳入内訳。
 - ウ 県内65歳以上のいわゆる1号被保険者の保険料総額と県内1人当たり平均保険料月額並びに収納率（前年対比）。
 - エ 自己負担については、年金から天引きになっていますが、これの現状について
- (4) 県の指導監査状況について伺う。
- ア 本県の指導体制及び指導内容等について現状を伺う。（施設、市町村別、人員、調査件数、指導内容等）
 - イ 施設側、市町村側の人員体制の現況をどのように把握しているか伺う。特に市町村においては、行政改革や合併等により少数体制のところも多いと聞かすが、その現状を含め伺う。

- ウ 指導後の措置状況について伺う。書面指導、実施指導、中には再度の実施指導を行うケースも考えられるが、それらの件数と最終的に監査に至った件数と主な内容について伺う。
- エ 介護保険法24条並びに同76条、83条、90条、100条及び112条の規定に基づく指定居宅サービス事業所または指定居宅介護支援事業所等に対して行う介護保険給付または予防給付に係るサービスの内容並びに介護給付費等に係る費用の請求に関して行う調査・指導・監査等の現状について伺う。調査・指導件数並びにその主な内容及び監査後の措置について伺う。
- オ 内部告発等により、不正が明らかになっているケースが全国的に多いと言われていますが、本県の実態について伺う。また、これにより不正に受領した給付費の返還等の事例があれば、その内容もあわせて伺う。
- カ 市町村（保険者）に対する指導状況について伺う。県内すべての市町村に対し、原則年1回実施において実施することになっている。当然、必要があれば随時実施されていると思うが、実施回数と主な指導内容及びに改善状況等もあわせて伺う。

7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	新垣 哲司(自民党)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	在沖米軍再編問題について		
2	北朝鮮による拉致被害救済について		
3	南部でのヤブガラシ被害分布調査、今後の取り組みについて		
4	高速道路の延伸問題で南部地域への延伸を検討したことはあるか。		
5	平和の道構想の進捗状況について		
6	我が党の代表質問との関連について		

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	伊波 常洋(自民党)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	<p>指定管理者制度について</p> <p>(1) 県が指定管理者制度を導入した目的は何か。導入により、県民に対する公的責任の後退につながることはないか。</p> <p>(2) 指定管理者制度により参入した管理者は、その業務運営について県に対する報告義務はどうなるのか。県の監査対象になるのか。</p> <p>(3) 指定管理者制度の対象となる施設は、各部局でどの程度に上るか。また、既に実施した施設の、①件数、②制度実施前と後との管理者、③節減効果、④節減理由はどうか。</p> <p>(4) 当該施設に存する公の情報、個人情報等について、その保護はどのようになされているのか。これは指定管理者の義務の範囲に入るか。</p>		
2	<p>環境について</p> <p>新石垣空港、大学院大学予定地に希少種が確認されている。両予定地における希少種や国指定記念物を示してください。また、今後建設実施に当たってのその保護対策と事業に及ぼす影響を伺います。</p>		
3	<p>地域商店街の活性化について</p> <p>(1) 衰退の歯どめのかからない地域の商店街、通り会等の再生をいかに図るか、県の計画を伺いたい。</p> <p>(2) 地域の空き店舗対策として、県はどのような事業を実施しているか。また、その効果について伺います。</p> <p>(3) うるま市安慶名地区の活性化事業が進められているが、県や国の支援策について伺いたい。</p>		
4	<p>我が党の代表質問との関連について</p>		

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
6	17分	岸本 恵光(自民党)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	基地問題について		
(1)	米軍再編と普天間飛行場の移設問題について		
ア	米軍再編の中間報告について、普天間飛行場の沿岸案や中南部の米軍基地の大半を北部に集約する方針に対し、地元では反対の声が多く聞こえる。この状況について、知事の見解を伺いたい。		
イ	知事は沿岸案に対し、反対の姿勢を明確にしているが、知事が反対するだけで普天間の県外移設が実現すると考えているのか、伺いたい。		
ウ	中間報告には、中南部の基地の北部への集約もうたわれている。これが実現すれば、北部にとっては負担が増大するが、沖縄の米軍基地全体にとっては、大きな目に見える形での整理縮小となると思われるが、知事の見解を伺いたい。		
エ	知事は、国の要請を拒否し普天間の県外移設を求め続ければ、普天間も解決し、さらに中間報告にある中南部基地の整理縮小も同時に実現できると考えているか、伺いたい。		
オ	名護市長は、沿岸案に反対の姿勢を示しながら、話し合いには応じるとし、地元の意向を踏まえた修正を求める考えも示している。知事の反対は、今後国のいかなる修正案にも応じないものであるか、伺いたい。		
2	農林水産業行政について		
(1)	北部家畜保健衛生所伊江村駐在獣医の存続について		
ア	伊江村は有畜農業を積極的に取り入れ、県内の小さい離島村でありながらモデル農村として県内から高い評価を受けているが、県は離島振興を推進する中でどうして駐在獣医の本所引き上げを検討しなければならないのか。		
イ	牛の生産は、小さい離島村ながら、北部地域の32.7%、県全体の5.9%を占め、本県の畜産振興に寄与している。これまでの実績を認め、畜産農家の不安と意欲減退がないために、駐在獣医の存続がぜひ必要と考えるが伺います。		
ウ	島嶼性から来る不利条件の畜産振興に今後さらに技術指導や地域に密着した支援体制が強く望まれるが御見解を伺います。		
(2)	北部地域園芸農業活性化事業について		
ア	平張施設、アーチ型施設、平張網掛施設の作物限定栽培は施設の用途利用の広がりがなく、今後の連作障害に問題はないか。		
イ	毎年襲来する台風対策のため、本県の農業振興策事業として、最も重要事業と考えるが、どうして本事業は今年度限りなのか。		
ウ	施設は50メートル台風に耐えるとされているが、沖縄の台風はそれ以上もあり、災害保険等はどうなるのか。		
エ	栽培のアドバイザーや、流通のアドバイザーの対応は充分か。		
(3)	カツオ漁業振興について		
ア	現在のカツオ船は49トンで、大型過ぎて19トン船の選択が最も合理的であると言われている。カツオ漁業を守るのに県の具体策はないか。		

- イ カツオ漁業不振の一つにえさ不足で出漁を見合す場合もあり、またえさのコストが売上高比で27%以上もあり収益が低い。県にその対策はないか。
 - ウ えさ不足や台風の影響で、カツオシーズンであっても食材不足で産地イメージを悪くしている。時には大漁であっても急速冷凍貯蔵施設がなく、その対策を考えてほしいがどうか。
- (4) 沖縄スギの適期種苗生産について
- ア 県種苗センターは、生産性の高い4月から5月に沖縄スギの種苗配布をしてほしい。
 - イ 県の種苗価格は1尾1ミリメートル当たり1円で、購入価格1尾122ミリメートル×122円で高く、安価で単価の見直しを検討できないか。
 - ウ 種苗を受け取ってから1週間余りで死ぬ場合が多く、受け渡し補償を考慮してほしい。
 - エ 種苗代の支払いは1週間後に請求されているが、もう少し有余期間がほしい。以上伺います。
- (5) 県土保全、農地保全の防潮林、防風林造成整備について
- ア 本島、離島ともに島を取り巻く防潮林、防風林はいつごろ植林されたか、その目的はどのように評価するか。
 - イ モクマオウ林が年々枯死し、防潮、防風林能力が低下しているが、現状をどうとらえ、また補植の計画はないか。
 - ウ 農作物の保護と農産物の安定した生産のため、既存の土地改良区であっても防風林の整備が必要と考えるがどうか。
 - エ 今後の農地保全対策について伺います。
- 3 観光振興について
- (1) 環境美化整備と予算増額について
- ア 那覇空港通り（国道332号、国道331号）の自衛隊基地のフェンスにブーゲンビリア、アラマンダと沿道に沖縄特性のハイビスカス、サンダンカの低花木や観葉植物のクロトン、フクリンアカリンドア等の植栽を自衛隊や国道管理者に観光美化の協力をぜひ求めてほしいが、御見解を伺います。
 - イ 外国人観光客入域が伸び悩んでいる要因の一つに表玄関である那覇空港の貧弱なターミナル施設が問題であると考えますが、今後どのような施策があるのか伺います。
 - ウ 本県の観光収入は3700億円産業として伸びており、今後さらに増加する観光受入対応に平成18年度観光予算の増額を求めたい。
- 4 土木行政について
- (1) 満名ダム計画中止に伴う今後の対策について
- ア 平成10年度事業中止後、約7カ年も経過しており、これまで県はどのような検討をされたか。
 - イ 当時の災害は1時間108ミリメートルの集中豪雨で河川がはんらんし洪水被害が出ており、満名川の拡幅が重要と考えるが、県の対応策を伺います。
- (2) 国頭村楚州部落の防波堤工事について
- ア 県は6月補正予算で6300万円の調査費が計上されたが、その調査内容と今後の対策を伺います。

(3) 伊平屋空港の早期実現について

- ア 昭和59年に県が伊平屋空港基本調査が実施され、30年余が経過し、その間同空港建設が県議会で採択されながら実現を見ていない要因は何か。
- イ 空港基本調査がスタートしてから約20年余が経過し、1億円以上の予算が支出されているが、その調査結果を伺います。
- ウ 離島苦解消のためにも空港建設実現に取り組んでほしいが、今後どのような促進策があるのか伺います。

5 医療行政について

(1) 県立北部病院産婦人科医不在問題について

- ア 産婦人科医師探しはどのように進んでいるのか。
- イ 1人の産婦人科医師が訪れ、その後断られたようですがその要因は何か。
- ウ 当初1人の婦人科医を残し診療を続けるとの説明でしたが、現在婦人科診療は月曜の週1回、中部病院からの出張で診療を行っているが約束が違うのではないか。
- エ 今後早急に医師確保に努力してほしいが、その施策を伺います。

一般質問通告表

平成17年第6回沖縄県議会(定例会)

12月08日(木)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
7	17分	小渡 亨(自民党)	知事 関係部室長等
質 問 要 旨			
1	米軍再編について		
(1)	「私はぶれない」という政治姿勢で、普天間基地の危険性は除去できるのか。		
(2)	海兵隊員7000名のグアム転出の評価はどうか。		
(3)	私の家の周りにもYナンバーの車がとまっている家があるが、米軍人向け賃貸住宅の現状(市町村別)と再編に伴う影響は。		
(4)	軍雇用員の現状と再編に伴う減数見込みとその対策は。		
(5)	再編による米軍関連歳入の減収額(県、市町村別)とその歳入に占める割合は。		
2	中城湾港泡瀬地区事業について		
(1)	埋立事業は地元を中心に沖縄市民の大きな期待があるが、県としてこの事業にどのように取り組んでいるか。		
(2)	この事業は、沖縄市において東部海浜開発事業と呼んでいるが、地域住民の事業に対する合意形成過程と20数年前の当初計画が変化していった経緯を説明してください。		
(3)	比屋根湿地や泡瀬干潟は下水道整備のおくれから環境が悪化し、悪臭を放っている。自然保護団体はその実態には全く触れず、埋立反対のため自然がすばらしいとの主張を繰り返している。地元は深刻な環境問題を事業を通じて改善してほしいと要望している。事業者はこの要望にどのように対応するのか。		
(4)	泡瀬のみならず、中城湾港全体の環境悪化が指摘されている。県は開発と環境保全の両立にどのように取り組むのか。		
(5)	いつも反対討論をしている共産党所属議員や反対派は、土建業者だけをもうけさせるためだけの事業と主張しているが、本当にそうなのか。事業によって市民、県民はどのようなメリットが得られるのか。		
(6)	この事業は、沖縄市民の20年余にわたる夢であった。県においては、いよいよ本格的な海上工事に着手すると聞いているが、県の事業を推進していく決意を伺いたい。		